

# 箱根map

散策メモ

箱根は箱根山の上にある。箱根山は、神奈川県と静岡県にまたがる火山の総称である。約40万年前、箱根山は火山として活動を開始した。何度も噴火を繰り返し、約25万年前に標高2,700mにも達する富士山と似た形の火山になったが、その後噴火を繰り返し、マグマが噴出して空洞化した地下部分が陥没、大きなカルデラが誕生した。この時、塔ノ峰、明星ヶ岳、明神ヶ岳、丸岳、三国山、大観山などは取り残され、外輪山となった。数万年後、再び火山活動が活発になり、カルデラ内に浅間山、鷹巣山、屏風山などの新期外輪山と呼ばれる山々が誕生、さらに数千年後に、台ヶ岳、箱根駒ヶ岳、上二子山、下二子山などが誕生し、現在の中央火口丘が形作られた。そして約3000年前、神山北西斜面にて大きな水蒸気爆発が発生し、早川が堰き止められ、芦ノ湖・仙石原・大涌谷が誕生、現在私たちが見ている箱根の姿が、形作られた。

春にはミズバショウ、カタクリ、夏にはニコウキスゲやノハナショウブ、初秋にはワレモコウ、オミナエシなど、四季折々の花が楽しめる。

箱根外輪山の尾根の部分を通るドライブウェイ。美しい富士山が正面に見える。

マイセン磁器を約300点展示している。

夏の風物詩、箱根大文字焼は、早雲山駅あたりからよく見える。

箱根を代表する美術館。屋外に展示された約120点の彫刻は、アートが分からなくても見ているだけで楽しい。新しく生まれ変わったピカソ館も必見。

かまぼこ博物館、市場、食事処などが集まる観光施設。

大涌谷は箱根火山の噴火による爆裂火口跡。今も噴煙が立ちこめ、硫黄の香りが充満している。

芦ノ湖を周遊する船の運行には、芦ノ湖遊覧船と箱根海賊船、二つの会社がある。それぞれ航路が複雑なので、事前に調べておきたい。

豊臣秀吉が小田原征伐の際に築かせた城で、別名石垣山一夜城。周囲の木々を目隠しに使い、一夜で築いたように見せ北条勢の戦意を削いだと言われている。

全長10.7キロのワインディングロード、正面には富士山と芦ノ湖が見え、素晴らしい絶景が楽しめる。おすすめのドライブコース。

ミュージアムの前には、箱根駅伝往路ゴール・復路スタート地点を示す石碑がある。

全長400mの日本一長い吊橋を保有する観光施設。展望エリアやカフェ、大人が本気で楽しめるアスレチック「フォレストアドベンチャー」などがある。

散策メモ  
箱根関所は、江戸の守護と東海道監視の為に作られた施設。通常の荷物検査のほか、諸大名の奥方が江戸を脱出することがないよう、所謂「出女」には厳しい取り調べがあったという。

